

◇ 産業化に向けた本市のこれまでの取組

- 市先端研究産業支援センターの整備・拡張
(H16～レンタルラボの整備・拡張(62室+別棟9室))
- 企業向けレンタル用地の整備(H21、H26取得・整備)
(H25.6～プロotypingスタジオ用地、H26.8～本社研究棟用地)
- 首都圏や仙台市などでの地元就職セミナーの開催
(H28～:鶴岡Job café、鶴岡地元就活応援セミナー、鶴岡市合同企業説明会)
- 研究開発や事業化の取組に関する相談、調整、連携

◇ 鶴岡サイエンスパークの状況、今後の取組

サイエンスパーク内のベンチャー企業・研究所の事業活動

経済波及効果額 **年間約30億7,700万円、雇用約500名**

サイエンスパーク全体で算出。地元出身者約4割、また、外国人研究者約20人。

サイエンスパークのさらなる発展に向けた施策の方向性

①事業活動を支える人材の 地元就職・地元回帰の促進

慶應先端研の研究教育活動などから生まれたベンチャー企業の事業拡大に必要な人材を確保するため、若者の地元定着やUIターンなどの移住定住促進施策を展開

②施設需要等に基づく研究 開発拠点環境の整備・拡充

ベンチャー企業等の研究開発など事業活動の成長に必要な用地、施設需要など研究環境に関する情報を的確に捉え、国内外から研究者を惹きつけるサイエンスパークを整備・拡充

◇ 第2次鶴岡市総合計画(R1～R10)がスタート

高度な研究教育活動の充実とベンチャー企業の成長を支える環境整備に取り組み、
国際競争力を持った付加価値の高い新しい産業と若い人材を育てる



「高等教育機関、研究機関の研究成果・新技術を核とする新しい産業の振興」

(今年度の主な取組)

慶大先端生命科学研究所への研究活動支援
(県、慶應、市による第5期協定(R1～R5))

「産業を創る若い人材の育成・流入・交流の促進」

(今年度の主な取組)

・慶應先端研発ベンチャー企業合同説明会
(R1.9.25 高専生、中学生、保護者など対象)

・ベンチャー支援と地元就職・地元回帰の取組
(R2.3.14 鶴岡市合同企業説明会in仙台など)

「企業間・産学官金連携の促進と創業・事業拡大支援」

(今年度の主な取組)

・入居企業等の研究活動の拡大や新規企業の立地促進等に必要な事業環境に関する調査
(一般財団法人日本立地センターに調査委託)

・レンタルラボの拡張に向けた検討